

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成28年11月10日 |
| 【四半期会計期間】 | 第87期第2四半期（自平成28年7月1日至平成28年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社G S Iクレオス |
| 【英訳名】 | GSI Creos Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長兼社長執行役員 中島浩二 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区九段南二丁目3番1号 |
| 【電話番号】 | 東京(5211)1828 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経理部長 松尾慶彰 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区九段南二丁目3番1号 |
| 【電話番号】 | 東京(5211)1828 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経理部長 松尾慶彰 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社G S Iクレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第86期 第2四半期 連結累計期間 | 第87期 第2四半期 連結累計期間 | 第86期 |
|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日 | 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 72,389 | 66,001 | 151,639 |
| 経常利益 (百万円) | 392 | 241 | 975 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 301 | 460 | 749 |
| 四半期包括利益又は 包括利益 (百万円) | 406 | 217 | 210 |
| 純資産額 (百万円) | 16,105 | 15,685 | 15,908 |
| 総資産額 (百万円) | 68,702 | 63,473 | 68,206 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | 4.69 | 7.13 | 11.66 |
| 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 23.37 | 24.71 | 23.30 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 3,280 | 2,832 | 1,344 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 250 | 1,142 | 611 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 1,619 | 309 | 1,261 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円) | 10,389 | 12,560 | 9,037 |

| 回次 | 第86期 第2四半期 連結会計期間 | 第87期 第2四半期 連結会計期間 |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日 | 自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日 |
| 1株当たり四半期 純利益金額 (円) | 3.08 | 7.05 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

連結子会社の固定資産の譲渡

当社は平成28年9月16日開催の取締役会において、当社の連結子会社である大三紙化工業株式会社が保有する固定資産を譲渡することを決議し、平成28年9月28日に契約を締結しております。

(1)譲渡資産の内容

名称 大三紙化工業株式会社の工場兼事務所
所在地 埼玉県越谷市大里485
内容 土地：8,044.88㎡
建物：4,701.00㎡

(2)譲渡の相手先

名称 丸三飲料株式会社
所在地 群馬県高崎市大八木町666-1

(3)譲渡の価額

2,100百万円

(4)譲渡の日程

平成29年3月(予定)

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの個人消費の回復は鈍く、中国経済の減速や英国のEU離脱決定に伴う海外景気の下振れ懸念に加えて、円高の進行や株式市場の低迷など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期比6,387百万円、8.8%減収の66,001百万円、売上総利益は、前年同期比100百万円、1.5%減益の6,617百万円、営業利益は、前年同期比157百万円、36.9%増益の583百万円、経常利益は、前年同期比150百万円、38.5%減益の241百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比159百万円、52.9%増益の460百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

繊維関連事業

機能性の高いインナー用の原系および生地は、円高に伴い売上高が大きく減少しました。一方、インナー製品のOEM取引は、採算が好転するとともに取引が伸長し、企画提案型の婦人ファンデーションも、採算が好転しました。

なお、平成28年9月30日にグンゼ株式会社製の肌着やパスト等の販売事業を同社に譲渡しました。

アウター用の生地輸出は、欧米のアパレル向けが減少しましたが、アウター製品のOEM取引は、レディース向けやアウトドア向けが堅調に推移するとともに円高により採算が好転しました。婦人アパレル事業は販売が伸びず苦戦しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比5,147百万円、8.7%減収の54,005百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比122百万円、40.2%増益の428百万円となりました。

工業製品関連事業

米国における半導体用途の化学製品の取引が大幅に減少し、フィルムの取引も市況の悪化を受けて減少しましたが、欧米やアジア向けの塗料・樹脂の添加剤や化粧品原料の取引が堅調に推移しました。

ホビー関連商品は、堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比1,240百万円、9.4%減収の11,995百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比25百万円、7.4%増益の365百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の減少などにより、前期末比4,732百万円減少の63,473百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前期末比4,509百万円減少の47,788百万円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額の減少などにより、前期末比223百万円減少の15,685百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、売上債権の減少など営業活動による収入や、有形固定資産の売却による収入など投資活動による収入、借入金の返済など財務活動による支出などの要因に、換算差額274百万円、新規連結及び連結除外に伴う現金及び現金同等物の増減額133百万円を加算した結果、全体では前期末に比べ3,523百万円増加の12,560百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2,832百万円の増加（前年同期比447百万円の収入の減少）となりました。

主な要因は売上債権の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは1,142百万円の増加（前年同期比891百万円の収入の増加）となりました。

主な要因は有形固定資産の売却による収入によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは309百万円の減少（前年同期比1,309百万円の支出の減少）となりました。

主な要因は借入金の返済による支出によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 200,000,000 |
| 計 | 200,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年9月30日) | 提出日現在発行数 (株) (平成28年11月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 普通株式 | 64,649,715 | 64,649,715 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は1,000株であ ります。 |
| 計 | 64,649,715 | 64,649,715 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成28年7月1日～ 平成28年9月30日 | - | 64,649 | - | 7,186 | - | 913 |

(6)【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---------------------------------------|--------------------|---------------|------------------------------------|
| グンゼ株式会社 | 京都府綾部市青野町膳所1番地 | 9,321 | 14.42 |
| 株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社) | 東京都中央区晴海一丁目8番12号 | 3,182 | 4.92 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 | 3,172 | 4.91 |
| 日本生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 | 2,328 | 3.60 |
| 東レ株式会社 | 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 | 1,982 | 3.07 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 東京都港区浜松町二丁目11番3号 | 1,422 | 2.20 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海一丁目8番11号 | 1,051 | 1.63 |
| 宮川 久雄 | 東京都江東区 | 971 | 1.50 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) | 東京都中央区晴海一丁目8番11号 | 758 | 1.17 |
| 株式会社SBI証券 | 東京都港区六本木一丁目6番1号 | 706 | 1.09 |
| 計 | - | 24,895 | 38.51 |

(注) 所有株式数の千株未満は切り捨てて表示しております。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成28年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 120,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 64,106,000 | 64,106 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 423,715 | - | - |
| 発行済株式総数 | 64,649,715 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 64,106 | - |

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式214株が含まれております。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---------------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社G S Iクレオス | 東京都千代田区九段南二丁目3番1号 | 120,000 | - | 120,000 | 0.19 |
| 計 | - | 120,000 | - | 120,000 | 0.19 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,037 | 12,560 |
| 受取手形及び売掛金 | 35,683 | 29,683 |
| 商品 | 9,947 | 8,436 |
| 未着商品 | 270 | 46 |
| その他 | 4,284 | 3,803 |
| 貸倒引当金 | 1,156 | 1,057 |
| 流動資産合計 | 58,066 | 53,472 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,646 | 3,792 |
| 無形固定資産 | 813 | 800 |
| 投資その他の資産 | 3 5,680 | 3 5,407 |
| 固定資産合計 | 10,140 | 10,000 |
| 資産合計 | 68,206 | 63,473 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 30,621 | 26,167 |
| 短期借入金 | 16,698 | 16,317 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 163 | 196 |
| 未払法人税等 | 95 | 117 |
| 引当金 | 387 | 485 |
| その他 | 3,026 | 3,246 |
| 流動負債合計 | 50,992 | 46,530 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 768 | 774 |
| 退職給付に係る負債 | 142 | 145 |
| その他 | 394 | 337 |
| 固定負債合計 | 1,305 | 1,257 |
| 負債合計 | 52,297 | 47,788 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,186 | 7,186 |
| 資本剰余金 | 855 | 855 |
| 利益剰余金 | 7,696 | 8,151 |
| 自己株式 | 20 | 20 |
| 株主資本合計 | 15,718 | 16,172 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 163 | 179 |
| 繰延ヘッジ損益 | 164 | 139 |
| 為替換算調整勘定 | 522 | 175 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2 | 6 |
| その他の包括利益累計額合計 | 190 | 487 |
| 純資産合計 | 15,908 | 15,685 |
| 負債純資産合計 | 68,206 | 63,473 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 72,389 | 66,001 |
| 売上原価 | 65,671 | 59,384 |
| 売上総利益 | 6,717 | 6,617 |
| 販売費及び一般管理費 | 1 6,291 | 1 6,033 |
| 営業利益 | 426 | 583 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 18 |
| 受取配当金 | 44 | 51 |
| 為替差益 | 77 | - |
| その他 | 21 | 28 |
| 営業外収益合計 | 153 | 98 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 150 | 105 |
| 為替差損 | - | 301 |
| その他 | 36 | 33 |
| 営業外費用合計 | 187 | 441 |
| 経常利益 | 392 | 241 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 68 | - |
| 投資有価証券売却益 | 1 | 0 |
| 事業譲渡益 | - | 250 |
| 国庫補助金収入 | 4 | 4 |
| その他 | - | 56 |
| 特別利益合計 | 73 | 310 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 15 | 3 |
| 固定資産圧縮損 | 4 | 4 |
| 出資金売却損 | - | 1 |
| 事業撤退特別損失 | 18 | - |
| 訴訟損失引当金繰入額 | - | 100 |
| 特別損失合計 | 37 | 109 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 428 | 442 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 117 | 143 |
| 法人税等調整額 | 9 | 161 |
| 法人税等合計 | 127 | 17 |
| 四半期純利益 | 301 | 460 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 301 | 460 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 301 | 460 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 135 | 15 |
| 繰延ヘッジ損益 | 73 | 25 |
| 為替換算調整勘定 | 51 | 697 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | 9 |
| その他の包括利益合計 | 105 | 678 |
| 四半期包括利益 | 406 | 217 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 406 | 217 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 428 | 442 |
| 減価償却費 | 168 | 132 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 15 | 166 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 85 | 11 |
| 受取利息及び受取配当金 | 54 | 70 |
| 支払利息 | 150 | 105 |
| 為替差損益(は益) | 0 | 10 |
| 有形固定資産売却損益(は益) | 68 | - |
| 有形固定資産除却損 | 15 | 3 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 1 | 0 |
| 出資金売却損益(は益) | - | 1 |
| 事業譲渡益 | - | 250 |
| 事業撤退特別損失 | 18 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 433 | 3,144 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 22 | 319 |
| その他の資産の増減額(は増加) | 63 | 915 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 3,759 | 1,573 |
| その他の負債の増減額(は減少) | 272 | 322 |
| その他 | 85 | 81 |
| 小計 | 3,469 | 3,409 |
| 利息及び配当金の受取額 | 52 | 69 |
| 利息の支払額 | 151 | 106 |
| 関係会社整理損失の支払額 | - | 423 |
| 法人税等の支払額 | 91 | 116 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,280 | 2,832 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 56 | 256 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 237 | 1,064 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1 | 1 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 45 | 1 |
| 出資金の売却による収入 | - | 31 |
| 貸付けによる支出 | 10 | 124 |
| 貸付金の回収による収入 | 25 | 14 |
| 事業譲渡による収入 | - | 447 |
| その他 | 10 | 34 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 250 | 1,142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 580 | 115 |
| 長期借入れによる収入 | 100 | 400 |
| 長期借入金の返済による支出 | 758 | 316 |
| リース債務の返済による支出 | 140 | 148 |
| 配当金の支払額 | 128 | 129 |
| 非支配株主からの追加取得による支払額 | 109 | - |
| 非支配株主への配当金の支払額 | 0 | - |
| その他 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,619 | 309 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 17 | 274 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,929 | 3,389 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,423 | 9,037 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 36 | 157 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | - | 24 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,389 | 12,560 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、GSI Creos Korea Co.,Ltd.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、吉思愛(上海)工程塑料加工有限公司は、第1四半期連結会計期間において重要性が減少したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

(税金費用の計算方法の変更)

一部連結子会社については、従来、見積実効税率により税金費用を算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、グループとしての税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の借入金等に対し、保証しております。

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 日神工業株式会社 | 47百万円 | 日神工業株式会社 47百万円 |

2 受取手形割引高

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形割引高 | 77百万円 | 65百万円 |

3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 投資その他の資産 | 436百万円 | 256百万円 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 物流費 | 997百万円 | 955百万円 |
| 販売諸掛 | 965 | 1,040 |
| 貸倒引当金繰入額 | 19 | 19 |
| 従業員給与及び賞与 | 1,322 | 1,262 |
| 賞与引当金繰入額 | 350 | 342 |
| 退職給付費用 | 75 | 86 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 現金及び預金 | 10,389百万円 | 12,560百万円 |
| 現金及び現金同等物 | 10,389 | 12,560 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成27年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 128 | 2.00 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成28年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 129 | 2.00 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|--------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 繊維関連事業 | 工業製品 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 59,152 | 13,236 | 72,389 | - | 72,389 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 4 | 4 | 4 | - |
| 計 | 59,152 | 13,241 | 72,394 | 4 | 72,389 |
| セグメント利益 | 305 | 340 | 645 | 219 | 426 |

(注) 1 セグメント利益の調整額 219百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用 230百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|--------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 繊維関連事業 | 工業製品 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 54,005 | 11,995 | 66,001 | - | 66,001 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 0 | 3 | 3 | 3 | - |
| 計 | 54,005 | 11,999 | 66,004 | 3 | 66,001 |
| セグメント利益 | 428 | 365 | 794 | 210 | 583 |

(注) 1 セグメント利益の調整額 210百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用 225百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。また、ヘッジ会計を適用しておりますので、注記の対象から除いております。

(企業結合等関係)

事業分離

1. 事業分離の概要

- (1) 分離先企業の名称
グンゼ株式会社
- (2) 分離した事業の内容
グンゼ株式会社製の肌着やパンスト等の販売事業
- (3) 事業分離を行った主な理由
当該事業の将来の発展を目指し、両社で協議していたところ、今回の合意に至ったものであります。
- (4) 事業分離日
平成28年9月30日
- (5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項
受取対価を現金等のみとする事業譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

250百万円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

| | |
|------|--------|
| 流動資産 | 995百万円 |
| 固定資産 | 3 |
| 資産合計 | 999 |
| 固定負債 | 30 |
| 負債合計 | 30 |

(3) 会計処理

移転した事業に関する投資は清算されたものとみて、移転により受け取った対価と、移転した事業に係る株主資本相当額との差額を、事業譲渡に関する他の費用と併せて、移転損益として認識しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

繊維関連事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

| | |
|---------|----------|
| | 累計期間 |
| 売上高 | 3,690百万円 |
| 営業損失() | 50 |

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|------------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 4円69銭 | 7円13銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円) | 301 | 460 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円) | 301 | 460 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 64,223 | 64,529 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月9日

株式会社G S Iクレオス
取締役会御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 渡 部 逸 雄 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 横 山 博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S Iクレオスの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S Iクレオス及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。